

令和3年度 第2回碧南海浜水族館協議会議録（要約）

1 日 時 令和4年2月16日（水）15：30～16：15

2 場 所 碧南海浜水族館 2階研修室

3 会議出席者（敬称略）

会 長 長谷栄次

副会長 小島広明

委 員 小澤徹、高松陽子、上田章子、浅井久夫、水野裕子
宮原英明、堀竜治、阿知波英明

参 与 生田弘幸、岡崎康浩

事務局 森徹、地村佳純

4 傍聴者 なし

5 会議概要

(1) 協議事項

ア 令和3年度 事業報告について

イ 令和4年度 事業計画について

(2) 報告事項

ア 令和3年度 碧南海浜水族館運営研究会議について

イ コロナ禍における海浜水族館の活動状況について

ウ その他

(3) 連絡事項

ア 令和4年度 第1回碧南海浜水族館協議会の日程について

6 議事および質疑

(1) 協議事項

ア 令和3年度 事業報告について

事務局 <資料1により説明>

委員A ビオトープに飛来する野鳥の調査について説明

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員B 小学4年生の校外学習において「昔の道具体験」とはどのような物を活用してどのような体験をしているか。

- 事務局 市史資料室から借用した明治から昭和にかけて使用していた数種類の鍬や、木槌、竹籠や天秤棒などを手にもって当時の状況を想像する機会としている。一人ひとり土をぶら下げた重い天秤棒を担ぐ際はその重さに驚きつつ、とても楽しそうに体験している。
- 委員 B 水族館実習はどのような内容であるか。
- 事務局 本実習は、高校生・専門学校生・大学生が水族館に就職を希望していたり、業務が自分に合っているのかを見極めたりする機会として対応している。本実習は通常業務の合間に指導していることから、ひと月に1名5日間に限定して対応している。内容は、業務の目的と手段のつながりや、従事する者に求められる資質についての講義から始まり、飼育業務や解説業務など現場業務を体験する。
- 委員 B 研究会・会議に関しては、コロナ禍で外に出にくい状況であるが、予算はしっかり確保して積極的に参加していただきたい。このような機会から刺激を受けて、個々の能力を高めることが水族館全体の能力が高まることにつながる。
- 事務局 委員のご指摘の通り、外部との連携や交流は職員のモチベーション維持や自己啓発の機会として大切であると認識している。特に若手職員にとっては、今後数十年に亘る水族館活動に役立つ同世代の人脈づくりにかけがえのない機会である。現在はオンライン会議になることが多いが、状況が許せる限り現地参加を進めていきたい。
- 委員 B イタセンパラやウシモツゴなど環境省との連携事業では、国から何らかの補助はあるのか。
- 事務局 環境省からは、イタセンパラの保護・増殖についての依頼があったことから貸与された水槽を使用している。愛知県とは協定を交わし、ウシモツゴ等の生息情報の共有を図っている。
- 委員 B 展示生物の収集活動に関して、志摩市と沼津市からとは水族館からの生物輸送であるか。

事務局 志摩市は、先般休館した志摩マリンランドから引き継いだ生物を輸送した。沼津市は伊豆三津シーパラダイスに収集協力していただいた生物を輸送した。

委員 B 出版物として年報は何部くらいをどのような施設に送付しているのか。

事務局 近年は毎年 400 部を印刷し、市内の小中学校及び公民館と、交流が密な博物館や水族館、研究所など約 210 箇所資料交換として送付している。

会 長 協議事項(1)令和3年度事業報告について承認の挙手を求める。

全 員 挙手

会 長 令和3年度事業報告について承認されたことを確認した。

イ 令和4年度 事業計画について

事務局 <資料1により説明>

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員 B 夏の特別展「スタッフが選んだ水族館のトピックス(仮称)」はとても楽しみである。多少自己満足になる内容でも良いと思うので職員の個性を大いに表現し楽しみながら企画を進めてほしい。

事務局 すでに解説原稿作成など準備は進んでいるが、絵が上手な職員が個々の似顔絵を描いている。職員それぞれの人物像や気持ちが前面に出せるように進めていきたい。

委員 B アナゴの恵方巻水槽とは比較的他施設でも取り組んでおり、特徴を出すことは難しいかもしれないが、少しでもPRに結び付く工夫を考えてほしい。

事務局 季節に関連する話題はマスコミ報道陣にも注目していただける傾向があるため、一年を通じそのような話題を作っており、節分はその内の一つである。他施設でも鬼が潜水するなど苦労しているが、当館では以前より土管に入るマアナゴに人気があることから恵方巻を絡めた話題を発信する思惑である。

委員 B 先日調べてみたところ、恵方巻に使われる海苔は、全国で年間60億枚が生産されている。その中で節分の一日で消費される海苔

は1%弱を占めているということで消費にも反映されている。節分の恵方巻はそもそも大阪の極一部の地域で始まった風習であるが今では全国的な消費拡大につながっている。水族館は海苔の消費拡大に関連はないと思うが楽しい企画にしてほしい。

委員B 「広報へきなん」への投稿について、「大浜に水揚げされる生物」や「矢作川の生物」「油ヶ淵の生物」などシリーズ企画として毎回コーナーを確保できたら面白いと思う。また執筆者の名前を表記することでモチベーションも上がるのではないかと思う。

事務局 広報へきなんは、これまで一年間に24回発行していた。しかし来年度からは12回に削減されるため、掲載枠の確保が難しくなるが、少しでも枠が確保できるよう交渉したい。

会長 協議事項(2)令和4年度事業計画について承認の挙手を求める。

全員 挙手

会長 令和4年度事業計画について承認されたことを確認した。

(2) 報告事項

ア 令和3年度 碧南海浜水族館運営研究会議について

事務局 <資料3により説明>

イ コロナ禍における海浜水族館の活動について

事務局 アに引き続き資料4により説明

会長 何かご意見、ご質問はないか。

特にないが、「ウその他」で何かないか。

ウ その他

事務局 本日お仕事の都合でご欠席のお二方より、事前にご意見をいただいたので報告する。

委員Cからは、これまでコロナ禍で実施できなかった行事はやむを得ないと思うが、対策が講じられるものについては極力実施してほしい。「おやじの会」では先ごろ、つきたての餅を触らないでちぎる道具を入手し近所で実施したところ大変盛り上がった。来年度は水族館でもぜひ餅つきを実施したい。とのご意見をいただいた。

委員Dからは、コロナ禍の影響から実施できない行事や会議は、オンライン活用を検討し、一つでも中止にならない手だてを考えてほしい。とのご意見をいただいた。

(3) 連絡事項

ア 令和4年度第1回碧南海浜水族館協議会について

会 長 報告事項(1) 令和4年度 第1回碧南海浜水族館協議会の開催日程について事務局の説明を求める。

事務局 次年度の第1回協議会は5月下旬を、第2回協議会は2月中旬を、それぞれ15:30～に開催を予定している。

今回の協議会につきまして、近日中に今回の議事録の素案を各委員に送るので、点検をお願いします。

会 長 これで議事の一切を終わる。